

作成日 2011/02/18
改訂日 2017/02/02

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ジアイオダイド (N=2)
製品コード	DIDN2
整理番号	Y1378-14
供給者の会社名称	ダイキン工業株式会社
住所	大阪府大阪市北区中崎西二丁目 4 番 1 2 号
担当部門	化学事業部 営業部
電話番号	06-6373-4345
FAX番号	06-6373-4281
緊急連絡電話番号	06-6349-7521

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康有害性

急性毒性（経口） 区分外
急性毒性（吸入：ミスト） 区分4
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
皮膚感作性 区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（甲状腺）
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318 重篤な眼の損傷
H332 吸入すると有害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による甲状腺の障害

注意書き
安全対策

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
保護手袋を着用すること。(P280)
保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P333+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)
気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)

応急措置

廃棄

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

腐食性がある。接触、吸入などにより薬傷を起こす。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 単一製品

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
1, 4-ジヨードパーフロオロブタン	99.7%以上	C ₄ F ₈ I ₂	(2)-4014	2-(13)-1	375-50-8

分類に寄与する不純物及び安 情報なし

定化添加物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び 沃化物（法令指定番号：606）（90%以上）
 及び有害物（法第57条の2、
 施行令第18条の2第1号、
 第2号・別表第9）

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 必要に応じて医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

必要に応じて医師の処置を受ける。
 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。
 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて
 容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

必要に応じて医師の処置を受ける。
 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火は風上から行い、蒸気、煙の吸入を避ける。
 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護
 具及び緊急時措置**

関係者以外は近づけない。
 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）
 を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 風上に留まる。

環境に対する注意事項

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

**封じ込め及び浄化の方法及び
 機材**

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉でき
 る空容器に回収する。後で廃棄処理する。

二次災害の防止策

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

取扱い場所は禁煙とする。製品が付着した煙草の喫煙により分解ガスを吸入する恐れがあるので、煙草の持ち込みも禁止とする。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

容器は直射日光や火気を避けること。

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

防毒マスクには有機ガス用吸収缶を使用する。

製品が加熱され、生ずる分解生成物中に人体が暴露される場合は有機酸性ガス用防毒マスク（場合によってはエアラインマスク）を使用する。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体

形状

液体

色

淡赤色

臭い

特異臭

臭いのしきい（閾）値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

149℃

引火点

引火せず

蒸発速度

データなし

燃焼性（固体、気体）

データなし

燃焼又は爆発範囲

下限

データなし

上限

データなし

蒸気圧

22hPa (25℃)

蒸気密度

データなし

比重（密度）

2.49

溶解度

データなし

n-オクタノール／水分配係数

0.0149g/l

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度（粘性率）

データなし

動粘性率

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性	日光によりヨウ素が遊離し着色する。
危険有害反応可能性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	高温、加熱。熱源、裸火。光。
混触危険物質	酸、アルカリ。
危険有害な分解生成物	熱分解生成物として、一酸化炭素、フッ化水素等を発生する可能性がある。

1 1. 有害性情報

急性毒性	
経口	LD50 >2000mg/kg
経皮	LD50 >2000mg/kg
吸入	吸入（ミスト）：LC50 >5mg/L
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	弱い
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	強刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性 あり
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	甲状腺 28days; NOEL=4mg/kg
吸引性呼吸器有害性	データなし
その他	変異原性：陰性 染色体異常：陰性

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	データなし
水生環境有害性（長期間）	データなし
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	難分解
オゾン層への有害性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
汚染容器及び包装	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable
航空規制情報	該当しない
国内規制	
陸上規制	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない

特別の安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れ防止措置を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号 なし

15. 適用法令

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9）

消防法 非危険物

16. その他の情報

その他 当製品は、工業用途として開発されたもので、それ以外の使用について、その安全性を保証するものではありません。本製品を医療用途、食品用途などにお使いの場合は弊社まで事前にご連絡ください。このSDSは、一般的な取扱いを前提に作成したものです。取り扱う際は、ここに記載されている内容を参考にし、十分注意して取り扱ってください。また、記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険有害性情報は、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

変更点 「3. 組成及び成分情報」に変更があります
「15. 適用法令」に変更があります